

オオヒナノウスツボ

Scrophularia kakudensis Franch.

ゴマノハグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が少なく、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

茎は高さ1m位に達する。わずかに毛がある。葉は対生し、長さ5~10cmで、卵形で先端とがる。茎の先によく分枝する円錐花序をつけ、花柄は斜上する。茎・葉柄に翼がない。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

外浦区、内浦区、口能登区、南加賀区。

生態など

多年草、花期は8~9月。

生育環境

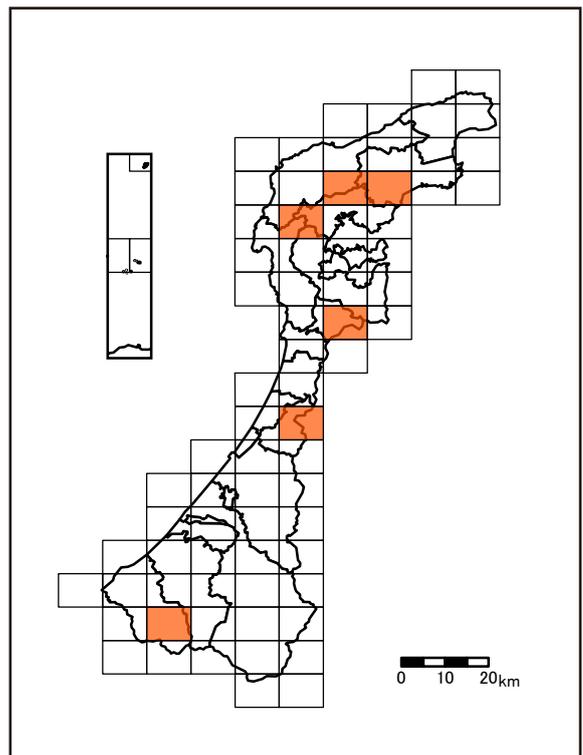
疎林の下や林縁。

危険要因

森林伐採、河川開発、土地造成、道路工事、管理放棄、自然遷移、産地局限。



小野ふみゑ・2007年9月23日・輪島市



県内の分布